

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第三中学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数（ 205 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 66.2 / 泉佐野市 70.8 / 大阪府 74.4 / 全国 75.8）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 55.8 / 泉佐野市 59.9 / 大阪府 64.8 / 全国 65.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことに課題がある。 1二 報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する (51.2 / 65.0)</p> <p>【書くこと】 ○伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。 7二 要望を適切に捉え、回答の冒頭に一文を加える (48.8 / 66.4)</p> <p>【読むこと】 ○表現の特徴を捉えることに課題がある。 6二 文章について説明したものとして適切なものを選択する (75.1 / 87.1)</p>	<p>【言語についての知識・理解・技能】 ○表現の技法についての知識が多少ある。 3一 用いられている表現の工夫として適切なものを選択する (60.5 / 58.3)</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。 9三エ 適切な語句を選択する（彼女は、学級の縁の下の方持ちと言え存在だ） (36.1 / 70.8)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○状況に応じて、資料を活用して話すことに課題がある。 1一 ノートのその他の情報を役立てられる。場合として適切なものを選択する (61.0 / 73.2)</p> <p>○効果的な資料を作成し、活用して話すことに課題がある。 1二 フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する (77.1 / 87.3)</p>	<p>【書くこと】 ○資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことに課題がある。 1三 演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く (45.9 / 56.2)</p> <p>【読むこと】 ○目的に応じて文章を要約することに課題がある。 2一 ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する (70.7 / 82.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	64.8	60.5		4.3
国語の勉強は大切だと思いますか。	87.6	89.9		2.3
国語の授業の内容はよくわかりますか	83.3	74.3	◇	9.0
読書は好きですか	53.8	67.9	○	14.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	38.1	59.2	○	21.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	36.7	54.0	○	17.3

分析した内容

○伝えたい事柄を、場面に応じた適切な言葉を用いて相手に伝えることが不得意である。

○表現技法など、知識として知っている割合は高いが、それを効果的に運用する力に欠ける。

○正答率は、前年度と比べて国語 A においては 1.2 ポイント、国語 B において 0.4 ポイント下回っている。

授業・意識

○話の組み立てを工夫することに対する苦手意識が、正答率の低さに繋がっていることが読み取れる。

○国語の勉強は好きだという生徒は多いが、読書が好きだという生徒は少ない。ここから自主的な学習意欲の低さや探究心の不足が読み取れる。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。

平均正答率（本校 54.9 / 泉佐野市 59.4 / 大阪府 64.3 / 全国 64.4）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく、下位層に少し偏っている。

平均正答率（本校 33.2 / 泉佐野市 36.5 / 大阪府 41.4 / 全国 41.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問	
<p>【数と式】 ○比の意味を理解している。 1 (1) 12 : 9 と等しい比を選ぶ (91.7/93.6) ○数量の関係を式に表わすことに課題がある。 2 (2) 赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの3/5倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す (13.7/22.2)</p> <p>【図形】 ○同位角の意味を理解している。 6 (1) 同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ (80.0/80.3) ○証明の必要性と意味を理解仕切れていない 8 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ (18.5/25.8)</p>	<p>【関数】 ○関数の意味を理解出来ている。 9 y が x の関数でない事象を選ぶ (70.2/81.5) ○二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解できていない。 13 二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ (33.2/37.9)</p> <p>【資料の活用】 ○多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解できていない。 15 (2) さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ (36.1/55.4)</p>	

数学B	特徴がみられた設問	
<p>【数と式】 ○事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することに課題がある。 2 (2) 連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になることの説明を完成する (31.2/43.1)</p> <p>【図形】 ○図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することに課題がある。 3 (2) 四角形 EFGH がいつでも平行四辺形になるように点 F の位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明する (11.2/21.2)</p>	<p>【関数】 ○事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 1 (3) 映像の明るさを2倍にするための投影画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する (8.3/11.7)</p> <p>【資料の活用】 ○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 5 (2) 2回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を、グラフを基に説明する。 (17.1/23.3)</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	60.9	56.0		4.9
数学の勉強は大切だと思いますか	75.2	82.6	◇	7.4
数学の授業の内容はよくわかりますか	76.6	71.6	◇	5.0
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	72.4	69.8		2.6
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	69.0	72.5		3.5
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	57.6	80.6	○	23.0

分析した内容

○数量関係を式に表したり，短答式，記述式の問題のように，言葉を式に置きかえる，資料や数学的な事象をみて言葉で表わすなど，数学的思考力に著しい課題が見られる。

○短答式や記述式など言語力を問う問題について，無回答率が高いのが目立っており課題である。

○正答率は前年度と比べて数学 A は 0.8 ポイント，数学 B において 1.6 ポイント上回っている。

授業・意識

○「数学の勉強は好き」な生徒が全国平均よりも高く，「授業は分かりやすい」と感じている生徒が多い。しかし，テストの正答率は全国平均より低いので，生徒の意欲を上手く使って，学習・理解させることが教員としての課題である。

○「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く」ことが，全国平均を下回っているが，「数学の問題の解き方が分からないときは，諦めずにいろいろな方法を考える」ことは，全国平均を若干上回っている。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。

平均正答率（本校 45.2／泉佐野市 48.2／大阪府 50.8／全国 53.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【科学的領域】 ○物質を化学式で表すことは概ねできている。 1（1）塩化ナトリウムの化学式を選ぶ (84.4/79.6) ○気体の性質を理解し正確に表現することに課題がある。 1（3）水上置換法では二酸化炭素の堆積を正確に量れない理由を説明する (38.0/53.0) ○グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読みとることに課題がある。 1（4）炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから、温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ (61.5/73.6)</p> <p>【地学的領域】 ○他者の考察を検討して改善し、既習事項と関連付けて自然現象を正しく説明することに課題がある。 2（3）湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する (2.4/14.5)</p>	<p>【物理的領域】 ○正確に作図しその時できる像を示すことに課題がある。 4（1）実験の結果から凸レンズによる実像ができるときの像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ (32.2/43.7) ○オームの法則を理解しこの法則を理解し、この法則をもとに計算することに課題がある。 5（1）抵抗に加わる電圧と流れる電流から抵抗の大きさを計算して求める (44.4/59.6)</p> <p>【生物的領域】 ○他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な考察を記述することに課題がある。 8（3）課題に対して適切な（課題に正対した）考察になるよう修正する。 (34.1/47.4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	74.3	61.9	○	12.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	87.6	66.8	○	20.8
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いませんか	26.2	22.9		3.3
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	30.4	38.4	◇	8.0
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	9.1	83.9	○	74.8
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	31.9	55.0	○	23.1

分析した内容

○記述式の問題の正答率が低く、理由を説明することや適切な考察を導き出し、文章化することに課題がある。また、短答式、記述式の問題で無回答率が高くなっていることにも課題がある。

○他の分野に比べて、直近に学習した地学分野の正答率の方が全国との差が小さい。

授業・意識

○「理科の勉強は好き」や「理科の授業の内容は分かりやすい」が全国平均を上回っており、理科の学習に意欲的で、教職員との関係も良好であることが読み取れる。

○「理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」という回答について、全国を大きく下回っており課題がある。そのため、「観察や実験」に関する回答は総じて低い。安全指導の観点や授業規律を重点化した指導も一因であると考えられる。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○朝食の摂取率が全国に比べ低い。</p> <p>○起床の時間は、全国と大きな差は無いが、同じくらいの時刻に寝ているのは、全国よりも少ない。</p> <p>○テレビ・DVDを見たり、聞いたりする時間・ゲームをする時間及び携帯電話やスマートフォンで、通話・メール・インターネットをする時間が長い。</p>	<p>○朝食を毎日食べていますか < 87.1 / 93.5 ></p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか < 68.5 / 75.2 ></p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）「3時間以上」 < 42.9 / 30.5 ></p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。「3時間以上」 < 31.9 / 20.5 ></p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）。「3時間以上」 < 32.9 / 18.2 ></p>
【家庭学習の様子】	<p>○学習塾に通っていない生徒は、全国と比べて13.2ポイント少なく、7割を超える生徒が塾にしている。塾での学習時間も含めて家庭学習の時間は、全国を上回っている。自分で計画を立てて勉強することも全国を上回っているが、学校の復習に時間を割いている生徒は少ない。また、授業以外に勉強時間が30分より少ない生徒の割合も全国平均より4.7ポイント多く、二極化していることがわかる。</p>	<p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）2時間以上 < 53.8 / 35.7 ></p> <p>○授業以外の1日の勉強時間が「全くしない」「30分より少ない」をあわせると < 18.6 / 13.9 ></p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか 学習塾に通っていない < 25.7 / 38.9 ></p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか < 54.3 / 48.8 ></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか < 42.3 / 52.0 ></p>

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○学習内容の振り返り活動はあまり行っていないと感じている。</p> <p>○先生に尋ねるといふ生徒が、全国と比べて27.2ポイント多い。先生との距離感の近いことがうかがえる。</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、話し合う機会が全国と比べて低く課題があるが、授業規律を重点化した指導も一因であると考えられる。</p> <p>○国語と数学の授業の内容はよく分るし、好きだと感じている生徒が全国より多い。</p> <p>○理科について、ほとんど観察や実験が行われていないが、授業の内容はよく分るし、好きだと感じている生徒が全国より目立って多い。</p>	<p>○1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか <u>< 45.3/59.3 ></u></p> <p>○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか、「先生に尋ねる」が<u>< 48.1/20.9 ></u></p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか<u>< 41.5/78.2 ></u></p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか<u>< 27.6/65.7 ></u></p> <p>○国語の授業の内容はよく分かりますか<u>< 83.3/74.3 ></u></p> <p>○国語の勉強は好きですか <u>< 64.8/60.5 ></u></p> <p>○国語の勉強は大切だと思いますか <u>< 87.6/89.9 ></u></p> <p>○数学の授業の内容はよく分かりますか<u>< 76.6/71.6 ></u></p> <p>○数学の勉強は好きですか <u>< 60.9/56.0 ></u></p> <p>○数学の勉強は大切だと思いますか <u>< 75.2/82.6 ></u></p> <p>○理科の授業の内容はよく分かりますか<u>< 87.6/66.8 ></u></p> <p>○理科の勉強は好きですか<u>< 74.3/61.9 ></u></p> <p>○理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか<u>< 9.1/83.9 ></u></p>
--------------------	--	---

本校の取組み

◎これまでの取組み

一昨年度から、スクールエンパワメント加配を活用し、5つの重点課題(①基礎学力の向上 ②家庭学習の定着 ③学力調査の分析による三中の課題 ④教師間における課題の共有 ⑤各教科の目標標準評価についての研究)を設け、校内研修の充実(研究授業も含む)を図ってきた。

昨年度は、メロディーチャイムを導入し、チャイム着席等の授業規律の徹底において顕著な成果が得られた。また、教職員や生徒を対象にしたアンケートや学力調査の結果から実態を把握し、三中の授業スタイルを検討し、『授業 三中スタイル』として共通理解した。目標標準評価についても各教科の課題を整理し、その解決のために討議、研修を行った。

平成27年度はこれまでの取り組みの継続と発展に努めている。具体的な取り組みとして、以下に記載する。

○授業規律「授業の受け方・大切にしたい9つのこと」から抽出した重点3項目の徹底と教職員間の申し合わせ事項の共通認識と継続的取組み。

○自ら学び取る生徒を育てる授業づくり『授業 三中スタイル』を共通認識し、今年度は、特に「振り返り活動・授業中の各活動時間の保障について」を授業の中で具体化することに取り組んでいる。

自ら学び取る生徒を育てる授業づくり 『授業 三中スタイル』

1. めあてを板書し、生徒の動機づけをする授業
2. いきいき活動する場面がある授業(ペアワークなど)
3. 考える場面がある授業
4. 静かに自分を振り返る、振り返り活動がある授業
5. ユニバーサルデザインの視点による授業設計

○冊子「平成27年度 目標標準評価規準の9教科一覧及び、家庭学習の手引き」の作成と配布し、評価の仕方や評価方法の周知を行った。また、家庭学習、特に復習の仕方についても具体的に説明した。

○家庭学習の定着を図るために、内容の工夫と朝学習とリンクさせて、提出率を高める工夫。

○生徒向け・・・SE通信「風が吹く」を発行し、生徒の意識づけを図った。

・生徒対象学習アンケートの結果や規則正しい生活週間、授業の受け方、テスト勉強の仕方等を掲載。

○教職員向け・・・SE通信「エンパワメントニュース」を発行し教職員に周知と共通理解を図った。

・基礎学力調査の結果や教職員対象授業アンケートの結果、学習環境整備の推進等について掲載。

○文化委員会を中心に図書室の整備と読書活動推進の啓発を行っている。

○校内研修 5月 評価研究【目標標準評価とテストの理論と実践】(講師招聘)

6月 授業づくり【教師対象及び生徒対象アンケート結果分析】

8月 研究主題「授業 三中スタイル」で各活動時間を保障すれば、自ら学び取る生徒が育つだろう【振り返り活動・授業中の各活動時間の保障について】(講師招聘)

○今年からの取組み

・学力向上学習会を3回行い、若手教員の意識向上を図っている。

・学力向上委員会の機動力を高めるために学力向上小委員会を設置し情報交換を行っている。

・全学年で『家庭学習ぱっちりウィーク』に取り組み始めている。

◎これからの取組み

○授業中の振り返り活動や各活動時間の保障の推進。

○授業における三中スタイルの実践状況を把握し、その結果を今後の校内研修で活用する。

○教職員対象授業アンケート及び生徒対象学習アンケートの実施と分析。その結果の活用。

○平成27年度全国学力・学習状況調査の分析結果の教職員の周知。また、生徒にも結果の一部を掲載し、学習や家庭生活の在り方の方向性を示す。

○目標標準評価による評価について検証を行い、さらに適正な評価活動に取り組む。

○11月・2月校内研修 研究授業と協議(講師招聘)「授業 三中スタイルの実践と評価活動について」